

共有地をつくる

白馬Storage Project

2025 会員募集 限定30口（建物のcapacityから面談の後決定）

気力あるいは体力の無い方は、お断りさせていただきます
北アルプスを身近に感じ、豊かな自然と対話しながら共生できる

スピリチュアルな空間づくりを目指しています

誰のものでもあり、誰のものでもなく。

資本主義が行き詰まる中、私たちはこのあたりで、近代資本主義の「より速く、より遠く、より合理的に」という価値観を見直す時期にきていると思います。株式会社の終焉をしっかりと見つめながら「よりゆっくり、より近く、より寛容に」という中世の原理に、今一度立ち直ってみることが必要でしょう。

都市生活とスマホから離れ、頭の中をResetする場所作りをこの10年間、私たちは模索してきました。

白馬村は、日本が好きな外国人や、食料自給を目指す農家の方も多く住み、行政も過疎地帯と違う取り組みをしている CompactCityです。その世界Brandの白馬村で、白馬Storageを、失われつつある、日本の文化（工芸、食、思考）の情報を発信する基地にまたAIに依存せず自分で思考する若者を育てる場所にしていきたいと準備しています。

人間の知能の根幹は、感覚を通して学ぶ能力にあると考えています。

● 小さな「地域社会圏」(コミュニティ)を作るという構想 参考資料1,2

今の日本は、GDPという指標で経済成長を図り、**成長**が目的化しているように思います。今後もGDP指標による成長をめざさなければならないのか？それが本当に私達の生活の豊かさに繋がっているのでしょうか。海外から投資されてもその利潤が外に逃げているという現状認識が必要です。

日本には集住というかたちを社会のストックにしていくという考え方はありません。供給サイドは、未だに高度成長期の標準家族を前提とした「一住宅＝一家族」モデルを売っています。

共同性と個人の二項対立で明確に分けてしまうと、人間の生活は苦しくなります。グレーゾーンのレンジを広く取って、相互浸透しているような状態が一番気楽でしょう。

私たちと一緒に、そろそろ2拠点生活の準備を始めませんか？

- ・ 白馬村周辺農地・山林の購入、宿泊棟の改修・増築、自給農場の準備、またレストラン棟の本格営業を計画しています。

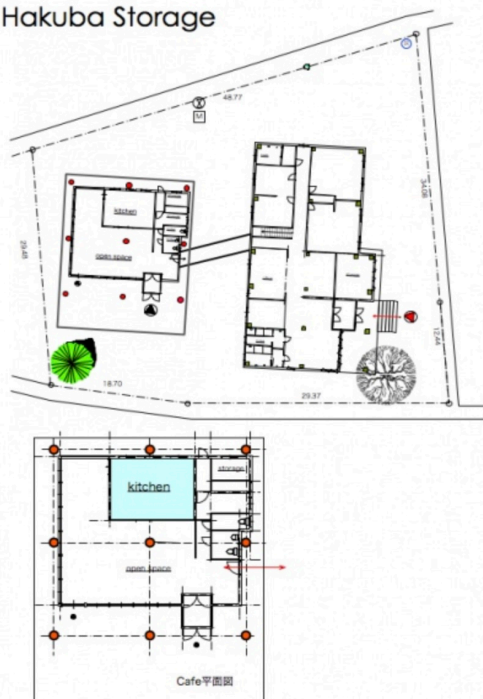


設置予定

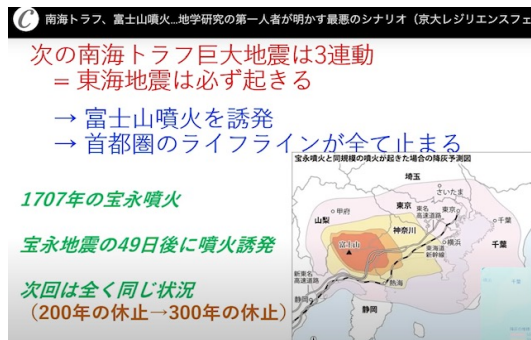
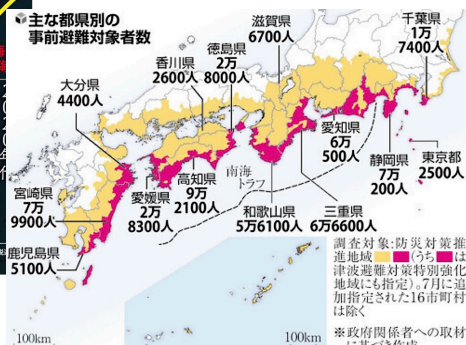
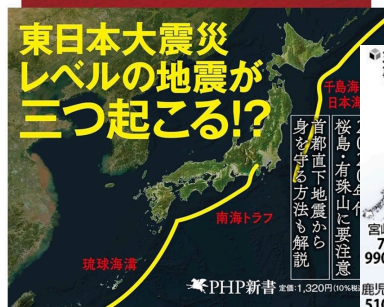
会員の利用できる場所

- ・ 白馬Storage 長野県北安曇郡白馬村北城 11318
敷地 600坪 建物 250坪（重量鉄骨造） 上下水道完備
自炊設備 Wifi, Fax, Copy他完備 暖房・薪+LPG
- ・ Paradise Farm 富士宮市栗倉2737- 農地 2500坪

Hakuba Storage



Karpos Kosakusho



極限の資産とは・・・

食料・水・塩・石鹼・ゴールド そして屋根のある小屋、助け合う仲間

会員特典

1口会員

1口 100万円

- 5年間 Hakuba Storage 宿泊 春夏秋 1泊1.000円、冬期2.000円 年間20泊まで
- 5年間 Ujamaa Farm 大分 米5kg 年1回 新米
- 非常用品荷物 預かりサービス

3口会員以上

出資比率に応じて、経営に参加していただきます